

# (14) 商 業

## 1 設置科目及び履修要件

(カッコ内は標準単位数)

改訂後	改訂前	備 考
ビジネス基礎 (2~4) <b>原則履修科目</b> 課題研究 (2~4) <b>原則履修科目</b> 総合実践 (2~4) ビジネス・コミュニケーション (2~4) マーケティング (2~4) ←	ビジネス基礎 (2~4) 課題研究 (2~4) 総合実践 (2~4) ビジネス実務 (2~4) マーケティング (2~4) 広告と販売促進 (2~4) 商品開発 (2~4)	再構成 整理統合
商品開発と流通 (2~4) 観光ビジネス (2~4) <b>新設</b> ビジネス・マネジメント (2~4) ← グローバル経済 (2~4) ← ビジネス法規 (2~4) 簿記 (2~6) 財務会計Ⅰ (2~4) 財務会計Ⅱ (2~4) 原価計算 (2~4) 管理会計 (2~4) 情報処理 (2~4) ソフトウェア活用 (2~4) プログラミング (2~4) ← ネットワーク活用 (2~4) ネットワーク管理 (2~4) ←	ビジネス経済応用 (2~4) ビジネス経済 (2~4) 経済活動と法 (2~4) 簿記 (2~6) 財務会計Ⅰ (2~4) 財務会計Ⅱ (2~4) 原価計算 (2~4) 管理会計 (2~4) 情報処理 (2~4) ビジネス情報 (2~4) プログラミング (2~4) 電子商取引 (2~4) ビジネス情報管理 (2~4)	名称変更 新設 分離 整理統合 名称変更
		名称変更 整理統合 再構成 分離

## 2 教科の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することをめざす。

⇒ **ここがポイント!**

ビジネスの動向・課題を捉える学習活動及びビジネスに関する具体的な事例について、多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動の一層の充実が求められる。

## 3 科目の内容 (主な変更点等)

<b>指導項目の再構成</b> ビジネス・コミュニケーション	ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーションに関する項目を取り入れるとともに、ビジネス英語に関する指導項目については、生徒や地域の実態に応じて適切な外国語を扱うことができるようになった。 (1) オフィス実務 ⇒ (1) ビジネスとコミュニケーション (2) ビジネスと珠算 ⇒ (2) ビジネスマナー (3) ビジネス英語 ⇒ (3) ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション ⇒ (4) ビジネスと外国語 ※ 3つの指導項目を、4つの指導項目に再構成。
<b>新設科目</b> 観光ビジネス	地域の活性化を担うよう、観光ビジネスを展開するために必要な資質・能力を育成するため、4つの指導項目を設定した。 (1) 観光とビジネス (2) 観光資源と観光政策 (3) 観光ビジネスとマーケティング (4) 観光ビジネスの展開と効果
<b>指導項目の再構成</b> ネットワーク活用	インターネットを活用したビジネスの創造に関する指導項目を取り入れた。 (1) 情報通信技術の進歩とビジネス ⇒ (1) 情報技術の進歩とビジネス (2) コンテンツの制作 ⇒ (2) インターネットと情報セキュリティ (3) ウェブデザインと広告・広報 ⇒ (3) 情報コンテンツの制作 (4) ウェブページの公開 ⇒ (4) インターネットの活用 (5) 電子商取引とビジネス ※ 5つの指導項目を、4つの指導項目に再構成。

## 4 各科目の履修に関する配慮事項

- 「財務会計Ⅱ」については、「財務会計Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とすること。

## 5 新学習指導要領の趣旨や内容に対応した授業の創造

### 「何ができるようになるか」～商業科において育成をめざす資質・能力～

知識・技術	・ 商業の各分野についての体系的・系統的な理解及び関連する技術
思考力・判断力・表現力等	・ ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力
学びに向かう力・人間性等	・ 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築をめざして自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度

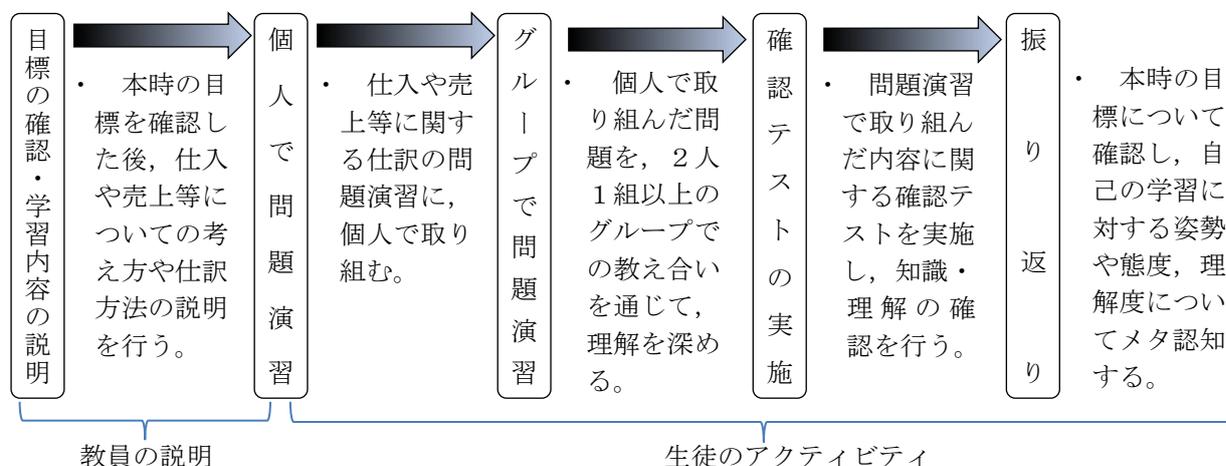
### 「何を学ぶか」～商業科において重視する学習内容・学習活動～

- ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成をめざすため、次の学習活動を重視する。
  - ・ 他者との討論により課題の解決策の考案などを行う学習活動。
  - ・ 他者の考えに耳を傾け、対立する意見であってもそれを踏まえながら自己の考えを整理し伝える学習活動。
  - ・ 地域を学びのフィールドとして、様々な職業や年代の地域住民などつながりを持ちながら信頼関係を構築し、協働して課題の解決などに取り組む学習活動。
  - ・ 職業資格の取得やコンクールへの挑戦などを通して自ら学ぶ意欲を高める学習活動。

### 「どのように学ぶか」～主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～

- 目標を確認し、見通しをもつ。
- 学習活動の中で、様々な成功と失敗を体験し、その振り返りを行うことで、自己の学びや変容に気付く。
- 自らの考えを広げ深めるために、生徒同士や産業界関係者などとの対話・討論を行う。
- 様々な知識、技術などを活用してビジネスに関する具体的な課題の解決策を考案する。

#### 【簿記：取引の仕訳における実践例】



#### 【授業改善の視点】

ビジネス基礎やマーケティングなどの座学や簿記及び情報処理等の問題演習を行う際にも、対話的な学習活動を通じて、個々の理解度を高めるよう努める。